

1 **Q20** 人権教育研修会に、保護者の参加が少なく効果があがりません。どのような工夫をすればよいですか。

5 **A** 研修を進めるには、保護者のニーズの把握や研修の方法と場の工夫、関係機関等との協力関係を築くための連携が必要となります。

人権教育を効果的に進めるためには、学校での人権学習を肯定的に受容できるような家庭や地域の基盤づくりが大切であり、人権教育に対する保護者等の理解を促進することが求められています。

10 学校での人権教育を進めるにあたっては、保護者自身が同和問題をはじめとする人権問題について学習し、正しく理解するとともに、人権感覚を高め、自他の人権を守ろうとする実践力を身につけていくための保護者への積極的な啓発が重要となります。

15 しかしながら、人権教育講演会等の研修会に保護者の参加が少なく効果があがらないという声があります。これは、学習者が受身的になりがちであること、内容や形式の画一化・重複によってマンネリ化すること、「差別はいけない」という建前の繰り返しによって学習者の「またか」意識を招いていること、知識や規範の伝達のレベルにとどまっていることなどが考えられます。また、学校は敷居が高く出かけにくい、意見を言いにくいといった声があるように開かれた学校づくりが進んでいないといったことも原因の一つと考えられます。

#### 【効果的な研修の工夫】

##### ○保護者のニーズの把握

20 保護者のニーズに合った研修内容であるかが大切です。アンケートによる事前の実態把握、事後の評価アンケート、KJ法等による課題把握をする必要があります。

##### ○能動的な参加を促す研修会の実施

25 参加体験型研修やビデオフォーラム（視聴覚教材）を取り入れるなどの研修方法を見直すことで、参加者が主体的に学習することができます（在り方編P44,45参照）。また、地区懇談会や修学旅行説明会等の人が集まりやすい会に短時間での啓発をするのも効果的です。

#### 【関係機関等との連携】

##### ○PTAとの緊密な連携

家庭・地域連携の要であるPTAとの緊密な連携が大切です。PTA組織に人権・同和教育専門部を設けたり、PTA役員研修を実施したりするなど、人権研修・啓発の充実を図る必要があります。

##### ○公民館との連携や学校間連携

30 公民館や他の学校との情報交換、および合同での研修会の開催など、連携を図ることが大切です。

##### ○家庭・地域との連携

様々な研修会にたくさんの保護者の参加を促すには、日頃から学校が家庭や地域と良好な協力関係を築いていくことが大切です（Q16参照）。

35

#### ふりかえり

人権教育研修会に保護者の参加を増やすために、あなたはどのようなことに取り組んでいますか。または、取り組めばよいと考えますか。